

北海道後期高齢者医療広域連合

第1次地球温暖化対策実行計画の実施状況の点検・評価について

北海道後期高齢者医療広域連合は、事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、平成29年度に策定した「北海道後期高齢者医療広域連合 第1次地球温暖化対策実行計画」（以下「実施計画」という。）に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

実施計画第4章2項に基づき、点検を実施し、平成28年度（基準年度）と令和元年度の温室効果ガス（CO₂）排出量を比較したところ、次のとおりの結果となった。

1 結果・点検

平成28年度 (基準年度)	令和元年度実績		
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)	削減率
38,649	28,791	9,858	△25%

温室効果ガス（CO₂）排出量は、基準年度と比較し25%の減となった。

2 評価

令和4年度までの達成目標は基準年度対比で削減率13%であるが、これを上回る削減率25%を達成したことは、様々な取組の成果として評価できる。主な取組成果として考えられるものは以下のとおり。

- (1) 照明点灯時間の短縮を図り、最小限の点灯に努めた。
- (2) 始業前、始業後及び休憩時間中の不必要な照明は消灯することに努めた。

以上のことから、今後も引き続き、消費電力の節約をはじめとしたCO₂排出量削減に向けての取組を推進していくこととする。

令和2年5月27日

北海道後期高齢者医療広域連合

地球温暖化対策推進担当者（事務局次長）